

2024年度決算の概要

2024年度決算は、保険料率を108%としました。収入の軸となる保険料は、被保険者数および総標準報酬額の減少により、前年度決算比1億6,992万6千円減の20億792万5千円となりました。

支出では、みなさまの医療費などに充てられる保険給付費が同2億550万円減となったものの、高齢者医療制度への納付金が同5,158万6千円増となりました。保険給付費と納付金の合計額が保険料収入を超えてしまう結果となり、収入不足を補うために繰入金2億円の取り崩しを行いました。

以上のことから、決算全体の収支差引額は1億4,555万7千円の黒字。経常収入は20億2,211万9千円、経常支出は22億4,700万7千円となり、経常収支差引額では2億2,488万8千円の赤字となりました。

健康保険組合を取り巻く状況

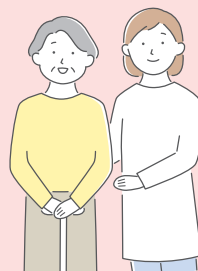
健保連発表の令和7年度健保組合予算早期集計結果の概要によりますと、赤字組合数は1043組合で全体の約8割に上り、健保組合全体で経常収支差引額は3,782億円の赤字が見込まれています。前年度から赤字幅に若干改善がみられるものの、依然として健保組合の財政は厳しい状況です。



収入では、被保険者の増加や賃金引き上げもあり、保険料収入が前年度3,829億円増加の見込みである一方、支出では、保険給付費、高齢者拠出金が共に増加の見込みとなっています。とくに、高齢者拠出金は前年度比142億円の増加となっています。高齢者人口の増加により、高齢者拠出金が増え続ける一方、現役世代の減少が続くため、拠出金のさらなる負担増は必至です。現役世代の負担軽減のため、全世代型社会保障の構築は喫緊の課題となっています。

介護保険

2024年度は介護保険料率を19.2%とし、介護保険収入は2億4,816万円となりました。支出では、介護納付金が2億3,563万5千円となり、差し引きでは1,252万5千円の黒字となりました。



収入総額

24億1,350万7千円

その他経常外収入 1億9,138万8千円

繰入金 2億円

その他経常内収入 1,419万4千円

保険料 20億792万5千円

経常収入
20億2,211万9千円

経常収支で
2億2,488万8千円
の赤字

経常支出
22億4,700万7千円

支出総額

22億6,795万円

経常外支出 2,094万3千円

その他経常内支出 7,597万8千円

保健事業費 1,852万6千円

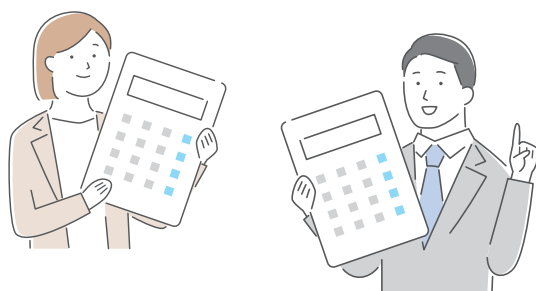
納付金 11億221万3千円

保険給付費 10億5,029万円

健康保険

決算基礎数値

- 被保険者数 4,609人
男性 499人
女性 4,110人
- 平均年齢 44歳
男性 44歳
女性 44歳
- 被扶養者数 915人
- 前期高齢者加入率 1.20%
- 保険料率(調整保険料率含む)
108.00/1000



介護保険

決算基礎数値

- 介護保険第2号被保険者数 3,147人
- 介護保険料率(事業主・被保険者折半)
19.20/1000

決算の概要

収入

科目	決算額
介護保険収入	2億4,816万円
雑収入	4万4千円
合計	2億4,820万4千円

支出

科目	決算額
介護納付金	2億3,563万5千円
介護保険料還付金	4万4千円
合計	2億3,567万9千円

